

# 収益拡大の年に、IT活用で組織がため

総会は例年どおり、千葉県船橋のクロス・ウェブにおいて、東北支部・九州支部の会員、遠い沖縄のおきなわ浄環技建など全国から24社28名の協会員が参加、2日間の日程で行なわれた。来賓としては、M I C流通研究センターの伊藤代表、渡邊ビジネスシステム研究所代表のほか、コンサル21及び業界誌4社の取材など。今年で10年目の節目を迎えた記念すべき総会だけに、集まった参加者の顔には自信と熱気がみなぎっていた。



▼開会式の様子(前左) 西村直人ACB協会会長

第10回ACB協会総会

# 34社、43名が参加

平成17年3月23・24日の2日間にわたり開催

まず、西村会長が挨拶にたち、今年は収益拡大の年にしたい。それにはIT技術の活用と組織作りは欠かせないとして、インターネットの活用方法を具体的に語った。また、競合他社の追い上げの中、ACB協会のブランド力アップは無届の急の課題として、広報活動にも広く取り組んでいかなければならないと訴えた。

次いで、優秀加盟企業の表彰となり、次のメンバーが壇上に立つた。

挨拶に立ったやまさ住設は、現在毎月数十万円の収益がある。しかし、もはや他社との競合で価格競争は激化していることから、いたずらに価格競争に陥ることなく、継続的な契約を着実に取り続けることが最善であることを強調。

とにかく製品には全く問題がないので、一度丸洗いを導入されたお客様からの解約はない。となれば、あとはさらなる

- ◆組織拡大増進賞  
味やまさ住設
- ◆最優秀賞  
ACB協会東北支部 17社、業販注文 2240台分
- ◆優秀賞  
ACB協会九州支部 7社、業販注文 1780台分
- ◆努力賞  
(有)米倉電機、業販注文 360台分

健康テック宮崎社長の所属する九州支部は、家庭用は頭打ちのところも出ているという厳しい現実にも関わらず、エアコン丸洗いの特許取得という協会の洗浄技術の高さを前面に押し出すことでさらに前進していきたい。特に今後は病院や学校、官庁などをターゲットとして、さらに前向きな姿勢で臨む決意をにじませた。

続いて行なわれた成功事例の発表では、客先から取り付けた「ありがたうメッセージ」をフル活用し、新規顧客の獲得に奔走している協和建物業理。また、昨年5月に加盟、好成績をあげた「八日市場ガス」の2社が壇上に立った。ともに地元密着で事業展開した、実体験に基づく成功

営業活動に邁進するだけ、着々と成果を上げていくだけに説得力は抜群。

第一部の締めくくりとしては、西村会長から、ホームページやインターネットによる営業ツールの活用などが紹介され、これからの活動にはインターネットによる双方向のコミュニケーションが不可欠であることを会員に強く印象づけた。

### 優秀加盟企業



左から西村直人ACB協会会長、味やまさ住設代表取締役社長、米倉電機代表取締役社長、宮崎代表取締役社長、西村直人ACB協会会長

価格競争に陥ることなく、継続的な契約を着実に東北支部と九州支部の3年連続受賞 結束強く良きライバル

第二部では、ダイキン工業の技術者から転身した九州大学客員教授北原博幸氏による基調講演が行なわれた。テーマは「エアコンの仕組みと諸問題」。

とりわけ北原氏はダイキン工業に携わっていただけに企業の動向に造詣が深いことがあり、参加者からは、エアコンの技術的問題から今後メーカーによるエアコン洗浄サービス



九州大学客員教授・客員博士 北原博幸氏

### エアコンの仕組みと諸問題

コンサル21の小倉氏は、ITコーディネーターとしての立場から、協会のインターネットの活用方法を評価しつつ、今後ホームページを作るにあたっての効果的な手法、個人情報保護法の施行に向けた注意点を具体的にアドバイス。



八日市場ガスの購買取締役と川嶋氏 協和建物業理の田島社長



第三部では、来賓祝辞として挨拶に立ったM I C流通センターの伊藤氏が、経済のグローバル化が進む中、あらゆる分野における柔軟な対応が求められる。特に環境貢献が急務にない企業、反社会的な企業は淘汰されていく。そのような状況を背景にした当協会の取り組みは非常に価値があるとして、協会の活動を高く評価した。

があり得るか等、各メーカーの今後の対応や動向にまでおよぶ質問が相次いだ。



第三部では、来賓祝辞として挨拶に立ったM I C流通センターの伊藤氏が、経済のグローバル化が進む中、あらゆる分野における柔軟な対応が求められる。特に環境貢献が急務にない企業、反社会的な企業は淘汰されていく。そのような状況を背景にした当協会の取り組みは非常に価値があるとして、協会の活動を高く評価した。

# 沖繩からも参集! 熱気あふれる総会に

第10回 ACB協会総会参加者

- ベストデンキ深谷店
- ヒダカデンキ
- イノクリン産業
- (有)谷川
- 関東燃料企業組合
- (株)やまさ住設
- (株)健康テック
- (株)ツノイ電気
- (株)会津エルビガス供給センター
- (有)中村産業
- (株)カンサイ
- 渡辺商会
- 八日市場ガス(株)
- (株)トウエキ
- (株)中岸商店
- 大城エネルギー(株)
- (有)ダイサンプロパン
- (有)米倉電機
- スマイリー
- 協和建物管理(株)
- (株)おきなわ浄環技建
- (有)高田油店
- (株)齊井
- (株)ビッグデンキ
- 運営顧問・報道
- トータルシステム研究所
- MIC流通研究センター
- 流通システム研究会
- 藤井経営研究所
- (有)ヨシオカデザイン
- (株)いんぶつと
- 電波新聞社
- 空調タイムス
- 石油化学新聞社
- コンサル21
- 埼玉県
- 千葉県
- 茨城県
- 神奈川県
- 群馬県
- 福島県
- 熊本県
- 埼玉県
- 群馬県
- 静岡県
- 東京都
- 千葉県
- 福島県
- 徳島県
- 石川県
- 山口県
- 静岡県
- 千葉県
- 兵庫県
- 神奈川
- 福島県
- 福島県
- 千葉県



空気をきれいにすることで、環境にもやさしい、ACB3液洗浄

総会2日目、24日も加盟店の活動内容発表と開発研究事業について熱い議論が交わされた。とりわけ、1T環境を充実させていくためにも、各社のホームページの新規開設と更新はぜひとも独力に押し進めて行かねばならないとの認識のもと、真剣な検討会議が開かれた。

(主な議題)

- 本部からの特選商品の説明。
  - 1 自社ホームページの作成請負ます。¥6000/A4、1枚程度。(参考ホームページ)
  - 2 新商品の紹介、配布資料(エアコン丸洗いの機材の注文書)断熱シートを同梱した業務用の薬液キット(20台と40台)を商品化
- 相模大塚の提案。代理店の配下に特約店を作る。家庭用エアコンの丸洗いを主力にした。報酬規定を明確化する。ACB協会技術認定制度の検討委員会設置。代理店認定、特約店認定の資格基準を明確化する。
- E.A.21(エアアクション21)の取得。おきなわ浄環技建 座間味社長様からブランド化の手段としてE.A.21取得をすることが有効との提案があった。2月11日発効の京都議定書の目標、CO2を10年以内に13%削減する国家施策が色々出てくることを予測できる。エアコン丸洗いはCO2削減の大きなひとつの手段であることを訴求してゆく必要がある。環境ワッペン、洗浄完了シール等で目立つように宣伝することが有効である。

この他にも技術認定制度の導入をふまえて、加盟店相互の技術提携が進められた。また、東北支部と九州支部の交流を基軸にさらに積極的な意見や報告が交わされた。

状況報告  
定期メンテナンス獲得に力点を  
(やまさ住設)  
ありがとうメッセージを活用  
(協和建物管理)

●会員情報交流  
各社の状況報告と17年度の計画及び功成、功体験、失敗体験の報告、討議が活発に交わされた。

●やまさ住設  
◆定期メンテナンス契約の成果、昨年170台の収益がある。  
◆本年度は、会員企業、定期メンテナンス契約営業を実施する。

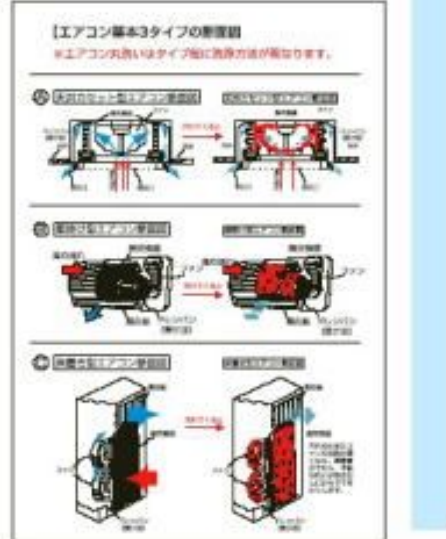
●協和建物管理  
◆エアコン丸洗いの作業には、しっかりと養生が売られていることを会長の指導でおこなったところ、換気扇の洗浄、床清掃等追加注文が増えている。

●その他  
◆官庁等の作業では、作業者のスタイル、安全対策等をしつかり見せられるようにしないと受注できない。  
◆同様に大手食品会社のエアコン丸洗いの受注も同様である。環境ワッペンの活用。



地球のためにいいことをしていく  
ACB協会、  
京都議定書決定事項の  
CO2削減に積極的に  
参加をしよう!

洗浄部分をタイプ別にイラスト化  
研修時に便利と好評  
ホームページ上からダウンロード可能に。



総会も10回目の今年、各社新しい展開を試みている中、陣頭指揮にあたる女性専務の中小企業家同友会のネットワークを活かした営業展開は、参加者の耳目を強く惹きつけるものとなった。

特に「ありがとうメッセージ」という営業ツールを駆使した展示は女性ならではの「素晴らしい丸洗いをしてくれて有難う」というメッセージを、丸洗いを導入していた。集めることが目標。

「ありがとうメッセージ」と協和建物管理の島田専務

◆予約承り中  
洗完了シール

環境ワッペン

サイズ 63×50mm  
色数 1色印刷  
一口 100円(10枚単位)

直径 81mm(トップ安全ピン付)  
一口 2,825円(5個単位)